

平成 21 年 8 月の主な地震活動^{注 1)}

番号	月 日	時 分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	備考/コメント
1	8 月 2 日	0時57分	新潟県下越沖	28	4.9	3	
2	8 月 3 日	20時18分	熊本県天草・芦北地方	7	4.7	4	陸域の地殻内で発生した地震
3	8 月 5 日	9時17分	宮古島近海	22	6.5	4	
4	8 月 5 日	12時51分	日向灘	33	5.0	4	フィリピン海プレート内で発生した地震
5	8 月 9 日	19時55分	東海道南方沖	333	6.8	4	太平洋プレート内で発生した地震
6	8 月 11 日	5時07分	駿河湾	23	6.5	6弱	フィリピン海プレート内で発生した地震 緊急地震速報(警報)、津波注意報発表 被害: 死者 1 人、負傷者 318 人など(9月3日10時現在、総務省消防庁による) 伊豆諸島、駿河湾、東海地方の太平洋沿岸で 津波を観測
7	8 月 13 日	7時48分	八丈島東方沖	57	6.6	5弱	太平洋プレートの沈み込みに伴う地震 被害: 住家全壊1棟、一部破損2棟など
8	8 月 17 日	9時05分	石垣島近海	48	6.7	3	津波注意報発表
	8 月 17 日	19時10分	石垣島近海	42	6.6	2	津波注意報発表
9	8 月 24 日	14時26分	青森県西方沖	172	5.4	3	太平洋プレート内で発生した地震

注 1) 「主な地震活動」とは、震度 4 以上の地震、M6.0 以上の地震、陸域で M4.5 以上かつ震度 3 以上の地震、海域で M5.0 以上かつ震度 3 以上の地震、前に取り上げた地震活動で活動が継続しているもの、その他、注目すべき活動。

その他の活動^{注 2)}

月 日	時 分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	備考/コメント
9 月 3 日	22時26分	薩摩半島西方沖	167	6.0	4	フィリピン海プレート内部で発生した地震
9 月 4 日	11時30分	千葉県北西部	67	4.5	3	太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震

注 2) 「その他の活動」とは、注 1) の主な地震活動の基準に該当する地震で平成 21 年 9 月中に発生したものを。

・地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果

平成 21 年 8 月 31 日に気象庁において第 280 回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表しました。その後も地震・地殻活動等の状況に変化はありません。

最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動

8 月 11 日に駿河湾でマグニチュード（M）6.5 の地震が発生しましたが、余震は次第に減少しています。その他の東海地域の地震活動及び地殻変動の状況には特別な変化はみられず、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

1．地震活動の状況

8 月 11 日に駿河湾の深さ 23 k m を震源とするマグニチュード（M）6.5 の地震（以下、駿河湾の地震）が発生しました。

この駿河湾の地震は、想定東海地震とは発震機構が異なり、圧力軸が北北東 南南西方向の、横ずれ成分をもつ逆断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震です。余震はしだいに減少しています。

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では地震の発生頻度が引き続き少ない状態になっています。一方、静岡県中西部の地殻内では地震活動がやや活発な状態が続いています。その他の地域では概ね平常レベルです。

2．地殻変動の状況

8 月 11 日の駿河湾の地震により、東海地域の歪計では、地震発生時に通常みられるステップ状の変化が観測され、その後、ゆっくりとした歪の変化が続きました。この変化は、想定断層面で発生するすべりによるものではないと考えられます。ゆっくりとした変化はしだいに小さくなり、8 月 11 日 11 時頃には通常のレベルになりました。

G P S 観測及び水準測量の結果によると、今回の地震にともなって、駿河湾周辺で水平及び上下の小さな地殻変動が観測されたほかは、特別な変化は観測されていません。

一方、御前崎の長期的な沈降傾向についてはこれまでと同様に継続しています。

本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所^{*}から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け^{**}、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの最終整理結果については、「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

注^{*} 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上1府8県、1政令指定都市は平成9年11月10日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上6県は平成10年6月15日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上1府11県は平成10年10月15日から発表）、東京都、長野県（以上1都1県は平成11年7月21日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上3県、1政令指定都市は平成12年1月12日から発表）、滋賀県（平成12年3月28日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上3県は平成12年7月18日から発表）、佐賀県（平成13年3月22日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上1県、1政令指定都市は平成13年5月10日から発表）、高知県（平成13年7月19日から発表）、福島県（平成13年12月12日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上4県、1政令指定都市は平成14年3月20日から発表）北海道、長崎県（以上1道1県、平成14年7月29日から発表）、沖縄県（平成15年3月10日から発表）の47都道府県、4政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成16年5月26日から発表）。

注^{**} 平成21年8月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、気象庁、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、東北大学の臨時観測点（夏油、岩入、鶯沢、石淵ダム）、東京大学の臨時観測点（駿河1、駿河2）のデータを利用している。

本資料中の図について

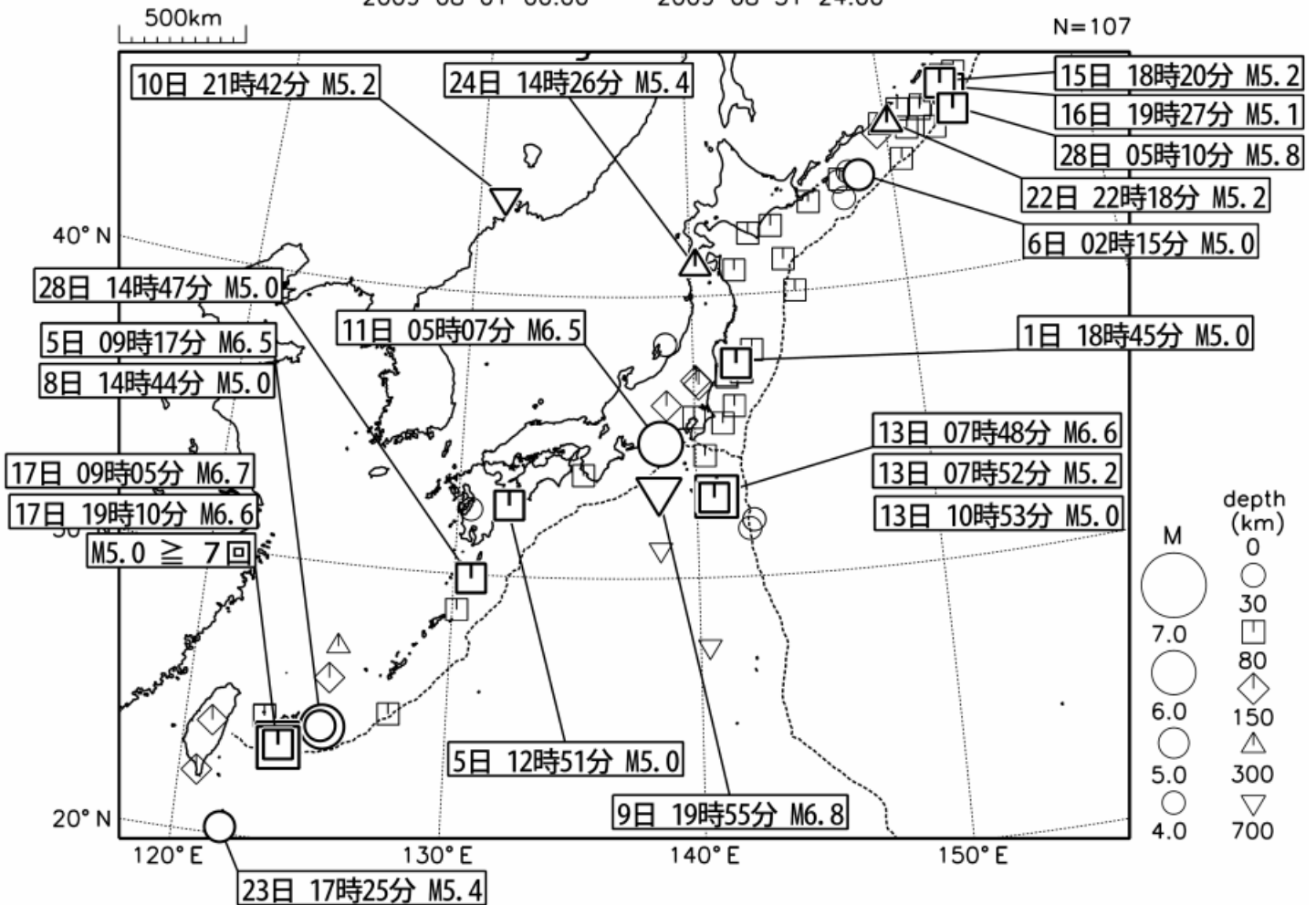
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』、『数値地図25000（地図画像）』、『数値地図50000（地図画像）』、『数値地図10mメッシュ（火山標高）』、『数値地図50mメッシュ（標高）』、『数値地図250mメッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平20業使、第385号）。

また、一部の図版作成には GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

-
- ・震央分布図中の語句について
M：マグニチュード Depth：深さ（km）
N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）
 - ・発震機構解について
発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。
 - ・地震活動経過図について
縦軸にマグニチュード（M）横軸に時間を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。
 - ・震央地名について
震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いる。情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合は「異なる震央地名〔情報発表時に使用した震央地名〕」と併記する。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。
 - ・震源と震央について
震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。
 - ・地震の震源要素等について
地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）」「地震年報」に掲載する。
 - ・火山の活動解説の火山性地震回数等について
火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）」「火山報告」に掲載する。

2009年8月の全国の地震活動 (マグニチュード4.0以上)

2009 08 01 00:00 -- 2009 08 31 24:00



- 8月5日に宮古島近海でM6.5の地震(最大震度4)が発生した。
- 8月9日に東海道南方沖でM6.8の地震(最大震度4)が発生した。
- 8月11日に駿河湾でM6.5の地震(最大震度6弱)が発生した。
- 8月13日に八丈島東方沖でM6.6の地震(最大震度5弱)が発生した。
- 8月17日に石垣島近海でM6.7とM6.6の地震(最大震度3と最大震度2)が発生した。

(上記期間外)

- 9月3日に薩摩半島西方沖でM6.0の地震(最大震度4)が発生した。

[図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。また、上に表記した地震はM6.0以上、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。]